



町田市 文化プログラム推進計画

町 田 市
2017年3月



目 次

第1章 目的と背景

1. 計画策定の目的	1
2. 文化プログラム	2

第2章 基本的な考え方

1. 計画期間	3
2. 将来像	3
3. 文化プログラムの全体像	4

第3章 基本方針および取り組みの視点

I 身近にある文化を発見し、楽しみ、伝える機会を拡充する	5
II 町田市の未来を切り拓く「ひと」を育む	6
III 市民協働により町田発の文化を創造する	7
IV 町田市の文化を発信する	8
V 文化をとおして海外との交流を深める	9
VI 市民同士や来訪者を文化のちからでつなげる	10

第4章 今後の推進方針

参考資料

1. 上位計画・関連計画	12
(1) 東京 2020 参画プログラム	12
(2) beyond 2020 プログラム	14
(3) 町田市文化芸術振興施策の基本方針	15
(4) 町田市中心市街地まちづくり計画	16
2. 町田市の文化資源	17
3. 町田市文化プログラム推進計画策定検討委員会	23

第 1 章 目的と背景

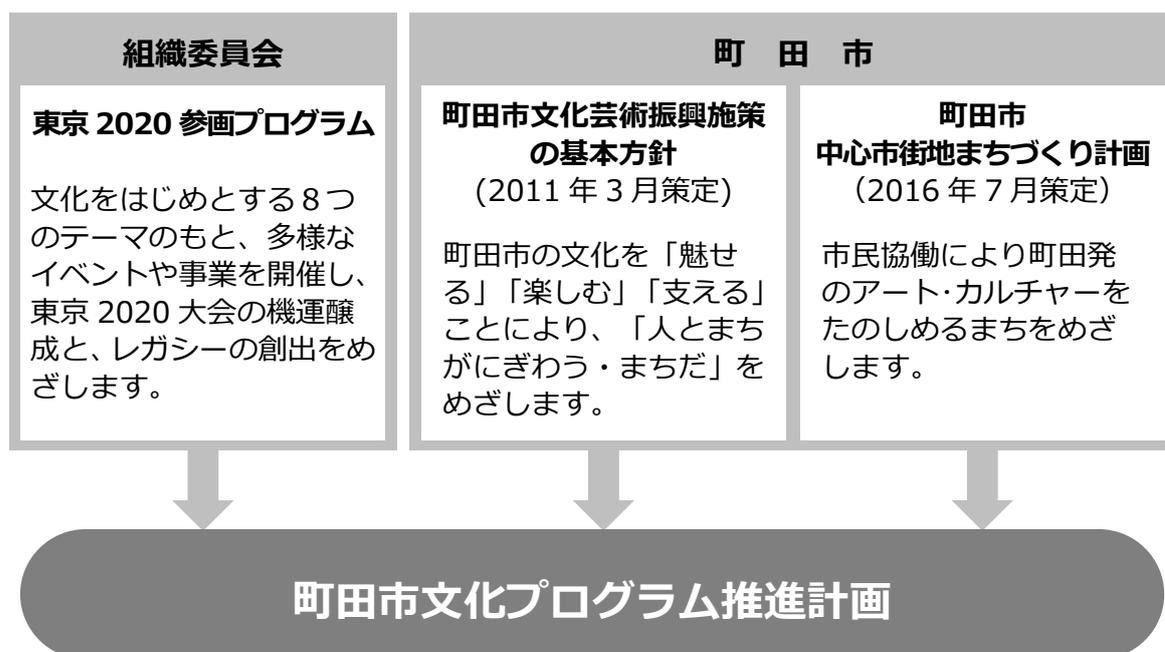
1. 計画策定の目的

2020 年に開催される東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京 2020 大会」とする。）はスポーツの祭典のみならず、文化の祭典としても位置付けられています。公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下、「組織委員会」とする。）は、スポーツ以外も含めた様々な分野でレガシー^{*}を残す大会としての成功をめざして、一人でも多くの人に参加し、その成果を未来に継承する文化芸術にかかわるイベントや事業を展開します。

町田市では、この機会を活用し、文化資源の活用や地域文化の振興に対する市民の機運を高め、2020 年以降の町田市が文化をとおしてより豊かなまちへと成長するための仕組みづくりとして、町田市文化プログラムを推進します。

本計画は、町田市の文化芸術資源を効果的に活用し、計画的に文化プログラムを実施するために策定するものです。

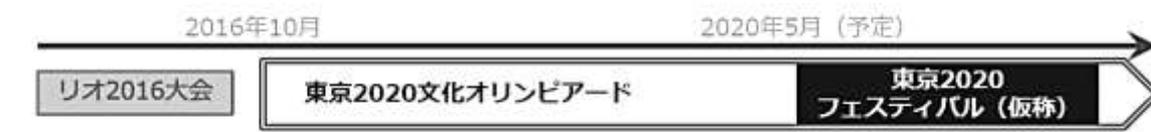
※レガシー：「長期にわたる、特にポジティブな影響」（I O C）
オリンピック開催都市において、オリンピックを契機に社会に生み出される持続的な効果。例えば、施設やインフラ整備、スポーツ振興、生活の利便性の向上等。



2. 文化プログラム

オリンピック憲章では、スポーツを文化や教育と融合させ、より良い生き方を創造することを根本原則としています。開催都市は文化プログラムの実施を義務付けられており、「文化オリンピック」と称して、文化芸術にかかわるイベントや事業など様々な文化イベントの展開が求められています。

東京 2020 大会に向け、組織委員会では 2016 年のリオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会終了後から 2020 年までを「文化オリンピック」の開催期間と位置づけ、文化プログラムによる機運を高める取り組みを展開します。さらに 2020 年には、文化オリンピックの集大成として「東京 2020 フェスティバル（仮称）」の開催も予定されています。



（組織委員会「東京 2020 文化オリンピックについて」2016 年 7 月 27 日資料より）

なお、組織委員会では文化オリンピックの期間中に開催される文化芸術にかかわるイベントや事業に対して東京 2020 参画プログラムという枠組みを設け、参画促進や東京 2020 大会後へと受け継がれる取り組みの推進をめざしています。

また、内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局（以下、「内閣官房オリパラ事務局」という。）では「beyond2020 プログラム」と称し、日本の文化を活かし、次世代に受け継がれる文化プログラムを全国に展開するとしています。

文化プログラム

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

東京 2020 文化オリンピック

東京 2020 参画プログラム
(2016 年 10 月～)

東京 2020
フェスティバル（仮称）
(2020 年 5 月以降開催予定)

内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部

beyond 2020 プログラム

第2章 基本的な考え方

町田市は、二・六の市からはじまり、江戸末期には“絹の道”の中継点として商業のまちとして栄えてきました。戦後は、東京のベッドタウンとして多くの人にとって生活のまちとなるとともに、周辺からも多くの人を訪れるまちとして発展を続けてきました。

こうした歴史や地域特性とともに醸成された町田市の文化をさらに振興するとともに、町田市らしい個性にあふれる都市として将来に向けて発展するための施策として、文化プログラムを位置付けます。

1. 計画期間

町田市文化プログラムは2017年度から2020年度までの4年間を計画期間とし、2020年度以降にもレガシーとして残る取り組みを展開します。

2. 将来像

文化プログラムをとおして、以下の将来像をめざします。

いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化を楽しむまち

【町田市文化プログラムの対象分野】

町田市文化プログラムでは、「文化芸術振興基本法」^{※1}の対象分野に加え、工芸やデザインなど、人々の暮らしに密着した創造的な分野を含めた、幅広い文化芸術を対象とします。さらに、「町田市に関わる歴史と生活」や「新しく多様な取り組み」も対象とし、より多くの市民の参画を目指します。

○町田市に関わる歴史と生活

○芸術・芸能

文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踏、メディア芸術、伝統芸能、芸能 等

○新しく多様な取り組み

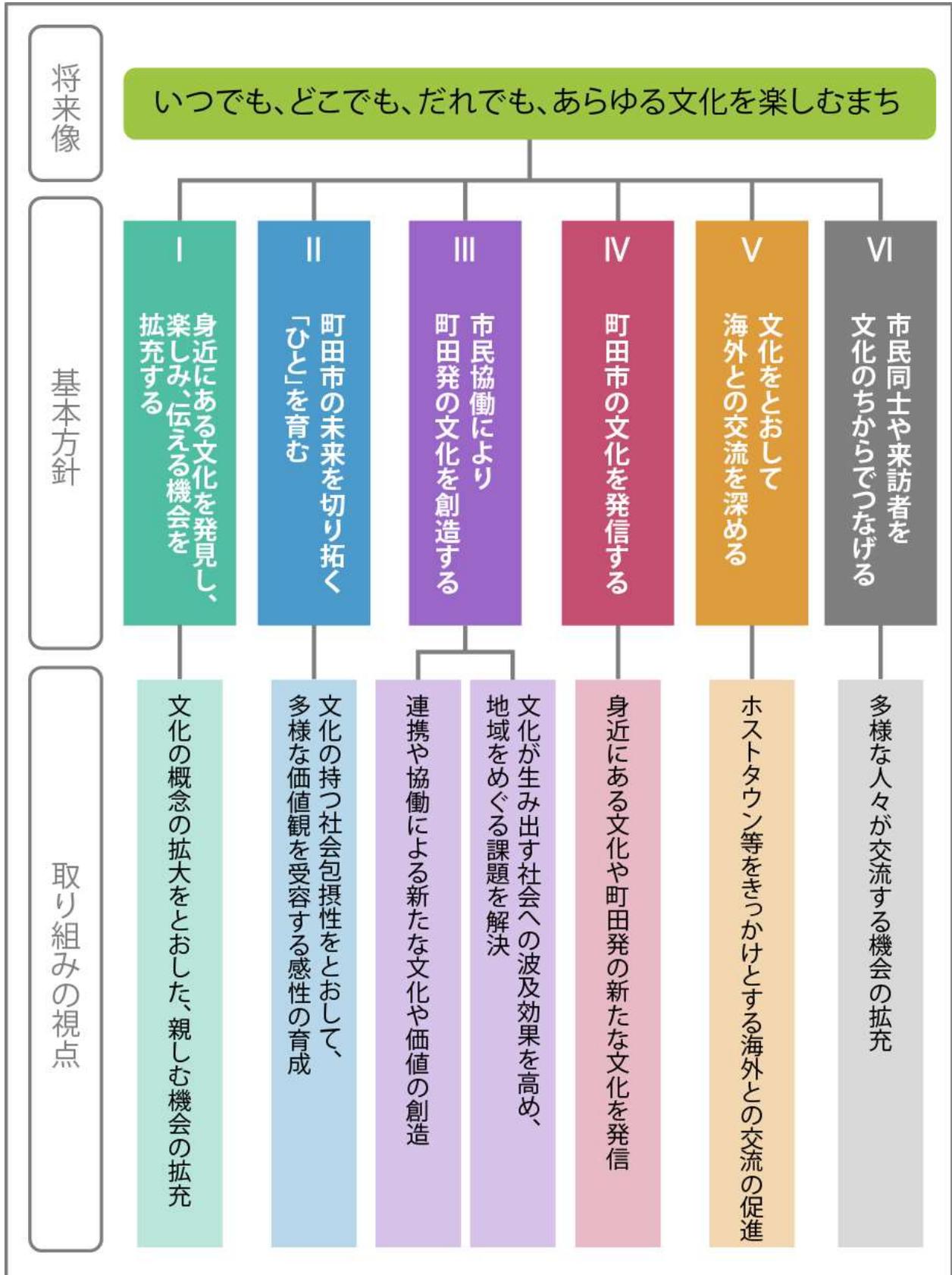
ストリートカルチャー（ダンス、パフォーマンス、大道芸、パレード等）、コミュニティアート^{※2} 等

※1 文化芸術振興基本法：文化芸術の振興に関する基本理念を定め、国と地方自治体の責務を明らかにした法律。文化芸術に関する活動を行うものの自主的な活動の促進を目指す。平成13年12月施行。

※2 コミュニティアート：アートを媒介としてコミュニティの課題を解決する活動。

3. 文化プログラムの全体像

2020年以降を見据えた将来像の実現に向け、下記に示す基本方針、取り組みの視点にもとづき展開します。



第3章 基本方針および取り組みの視点

町田市文化プログラムは先に挙げた6つの基本方針と、それぞれに対する取り組みの視点にもとづき展開します。

基本方針

I

身近にある文化を発見し、楽しみ、伝える機会を拡充する

市内の多様な文化資源（P. 17 参照）について、改めて目を向ける機会を設けるとともに、市民自らがその楽しさを享受しながら、広く伝える機会の充実を図ります。

2020年に向けて町田市以外でもさまざまな文化プログラムが展開され、文化に対する市民の意識が高まることが予想されます。その文化に向けられた意識を活用し、身近にある文化について再認識し、楽しみをとおして発信することにより、町田市民の文化資源に関する意識の向上と、内外への情報発信をめざします。

取り組みの視点

I — ①

文化の概念の拡大をとおした、親しむ機会の拡充

一人でも多くの市民が町田市の文化資源に対して目を向けるためには、文化の概念を拡大しながら、鑑賞・参加・創造する機会の拡充が必要です。ジャンルを超えた連携や多様な視点をとおした自由な取り組みなど、既存の枠組みを超えた展開により、より多くの市民が身近にある何気ないモノやコトも文化であると気づき、体験することで、町田市への誇りや親しみの創出も期待されます。

取り組み（案）

- ・多様性にあふれる町田市の文化とふれあう機会の創出
- ・文化への参加・体験をきっかけにした参加人口の拡大
- ・既存市民団体との協働による、参加・体験機会の拡充
- ・スポーツと他の文化資源との連携など、新たな視点による取り組み
- ・郷土芸能とユースカルチャー[※]の融合など、伝統と革新を意識した取り組み
- ・路上ライブのための認証制度など、にぎわい創出に寄与するための環境整備

※ユースカルチャー：主に、その時代の青少年層に支持されている文化や活動。

町田市の未来を切り拓く「ひと」を育む

文化をとおして育まれる想像性や創造性は、互いの価値観を認め合い、人と人とのコミュニケーションを広げる効果をもたらします。幅広い市民やクリエイター^{※1}等が参画する文化プログラムの開催をとおして、多様な価値観を受け入れ、互いに学び合い、成長することにより、地域課題の解決に寄与できる人材を育みます。

また、創造性にあふれ町田市の文化資源をより魅力的に活用することのできる人材を育成し、2020年以降の町田市にレガシーとして残すことにより、将来の町田市が持続的・発展的に成長するための素地を築きます。

文化の持つ社会包摂性をとおして、
多様な価値観を受容する感性の育成

次代の町田市を担う子どもたちの創造性を育む取り組みや、町田市の文化資源をより発展的に活用、向上できる専門的人材の育成、さらに、さまざまな取り組みを支援する市民のつながりを構築し、町田市の文化力向上をめざします。

取り組み（案）

- ・子どもたちを触発する文化との出会いをとおして、価値観を広げる取り組み
- ・子どもたちが自ら考え発見し、創るよろこびを体感する機会の提供
- ・創作や発表の場など、創造性を発揮する機会の提供
- ・クリエイターやアート・プロデューサー^{※2}など専門的人材の育成
- ・ボランティアなど多様な人材の活用に向けたつながりづくり

※1 クリエイター：町田市文化プログラムの対象分野（P.3参照）に関して、創造的な活動を行う人。画家や音楽家、作家、アーティスト、デザイナー等。

※2 アート・プロデューサー：文化に関わる活動を行う場合に、総合的な観点から、クリエイターの思いを実現するために必要な場所や費用、資材や人材等の仕組みを構築する役割。

市民協働により町田発の文化を創造する

「多様性と調和」を大会コンセプトの一つに掲げる東京 2020 大会では、文化プログラムにおいてもあらゆる人々の積極的な参加が求められています。

交通の要衝に位置し商業で栄えた歴史を持つ町田市の「結節点」としての特徴を活かして、市民やクリエイターとの協働により、町田市ならではの文化の創造をめざします。

連携や協働による新たな文化や価値の創造

文化プログラムとして、一人でも多くの市民が参加し、これまでにない新たな文化や価値の創造を図るため、市民やクリエイターとの連携や協働を促進します。

取り組み（案）

- ・市民の挑戦へのバックアップ
- ・市内の学校教育機関との連携
- ・商店街や各地区における市民活動などとの連携により、市内各地の通りや屋外で育まれる文化（みちばた文化）の活用

文化が生み出す社会への波及効果を高め、
地域をめぐる課題を解決

市内各地域において、クリエイターと市民との協働による文化プログラムを開催し、新たな価値観の共有やコミュニケーションの創出・拡充を図ることにより、各地域における課題の解決や活性化をめざします。

取り組み（案）

- ・文化活動をとおしてにぎわいや地域の活力を創造する組織づくり

町田市の文化を発信する

文化資源を町田市の魅力として広く発信することにより、町田市に対する市民や来訪者の興味・関心を高める取り組みを行います。文化プログラムを契機に、町田市への来訪促進を図り、さらなるにぎわいの創出をめざします。

また、発信のみならず情報の蓄積も並行して行うことにより、東京 2020 大会以降のレガシーとして活用を図ります。

身近にある文化や町田発の新たな文化を発信

多くの人々が親しみやすく、効果的な発信手段を導入することにより、身近な文化や町田発の新たな文化について、一人でも多くの人々が鑑賞・参加・創造する機会を創出します。多くの人々でにぎわう中心市街地の特徴を活かし、多様な活動を行うことにより、活動の認知や参加意識の向上を図ります。

取り組み（案）

- ・活動のアーカイブ[※]構築による資源化と発信力の拡充

※アーカイブ：活動の記録を保存・活用し、将来に伝える機能。

文化をとおして海外との交流を深める

文化プログラムを契機とし、これまで行われてきた国際交流をさらに促進する活動の展開を図ります。

ホストタウン^{※1}等をきっかけとする海外との交流の促進

東京 2020 大会に向けて、ホストタウン相手国等との文化をとおした交流促進を図ります。ホストタウン相手国をはじめとする海外都市や外国人との交流により、異文化理解の促進や新たな価値観の醸成を図り、町田ならではの新たな文化の創出につなげます。

さらに、文化プログラムの取り組みをとおして蓄積される、海外との文化交流のノウハウをレガシーとして残すことにより、将来的に拡大が期待されているインバウンド^{※2}対策の向上を図ります。

取り組み（案）

- ・ホストタウン相手国の多様な文化（演劇、音楽、文学、食等）の紹介や、参加・体験の促進
- ・ホストタウン相手国や海外からの来訪者との交流につながるプログラムの実施
- ・市内在住の外国人や留学生等との連携による各国文化の体験・交流

※1 ホストタウン：東京 2020 大会の開催に向け、大会参加国や地域との相互交流を図る地方公共団体のこと。町田市は南アフリカ共和国のホストタウンとして、交流イベントの開催や代表選手団の事前キャンプ地招致に取り組む。

※2 インバウンド：外国人による訪日旅行。

市民同士や来訪者を文化のちからでつなげる

文化プログラムの実施に向けた準備段階から、市民やクリエイター、町田市に集う人々などの参加を促進し、市民のちからを活かした文化プログラムの推進を図ります。

多様な人々が交流する機会の拡充

障がいのある方々の文化活動を支え、障がいのある方々と社会とを結びつける活動など、多様な人々が参加・交流できる文化プログラムを開催します。文化プログラムの準備段階から実施までのプロセスをとおして、多様な人々や文化の交流を図り、新しい価値観と出会える機会の拡充をめざします。

取り組み（案）

- ・文化の持つ社会包摂性を活かしたイベントやプログラムをとおして、子ども、高齢者、障がい者、外国人等、様々な人々が協働する機会の創出
- ・異文化への理解や、価値観を拡げてくれるような作品との出会いの創出

第4章 今後の推進方針

本計画の実施にあたって、以下のような期間を設定し推進します。それぞれの具体的な取り組みについては、前の期間で得た知見を踏まえ、具体的な展開方法を検討していきます。

2017～2019 年度の取り組み

本計画で策定した将来像の実現に向け、取り組みの視点を踏まえた事業を展開することにより、着実な成果の蓄積を図ります。特に、市民参画の実現に向けた取り組みを重視し、市民による主体的な活動に対するニーズ等の把握、参画促進に寄与する事業、人材育成事業の展開を図ります。

また、2018年度から3年程度の開催を予定している（仮称）まちだシティプロモーション2018-2020や、2019年度に開催されるラグビーワールドカップ2019日本大会の機会を活かしながら、様々な事業の展開を図ります。

さらに、オリンピックイヤーとなる2020年に開催するイベントに対して、具体的なプログラムのあり方を市民とともに検討し、準備を行います。

実施した事業のプロセスや成果は、詳細に記録・保存し、アーカイブ化を図ることにより、将来に向けた資源として活用することが可能となります。

2020 年度の取り組み

2017～2019年度において蓄積した成果や情報、市民とのネットワークを活かし、オリンピックイヤーとして、町田市全域で市民の力を活かした事業を実施します。

2020 年度以降の取り組み

2020年度までに得た事業の手法や進め方、人的ネットワーク等を活かし、将来像の実現に向けた取り組みを継続する仕組みづくりを推進します。東京オリンピック・パラリンピックを契機とした取り組みであることから、例えば、4年おきの定期開催とする事業展開等が想定されます。

参考資料

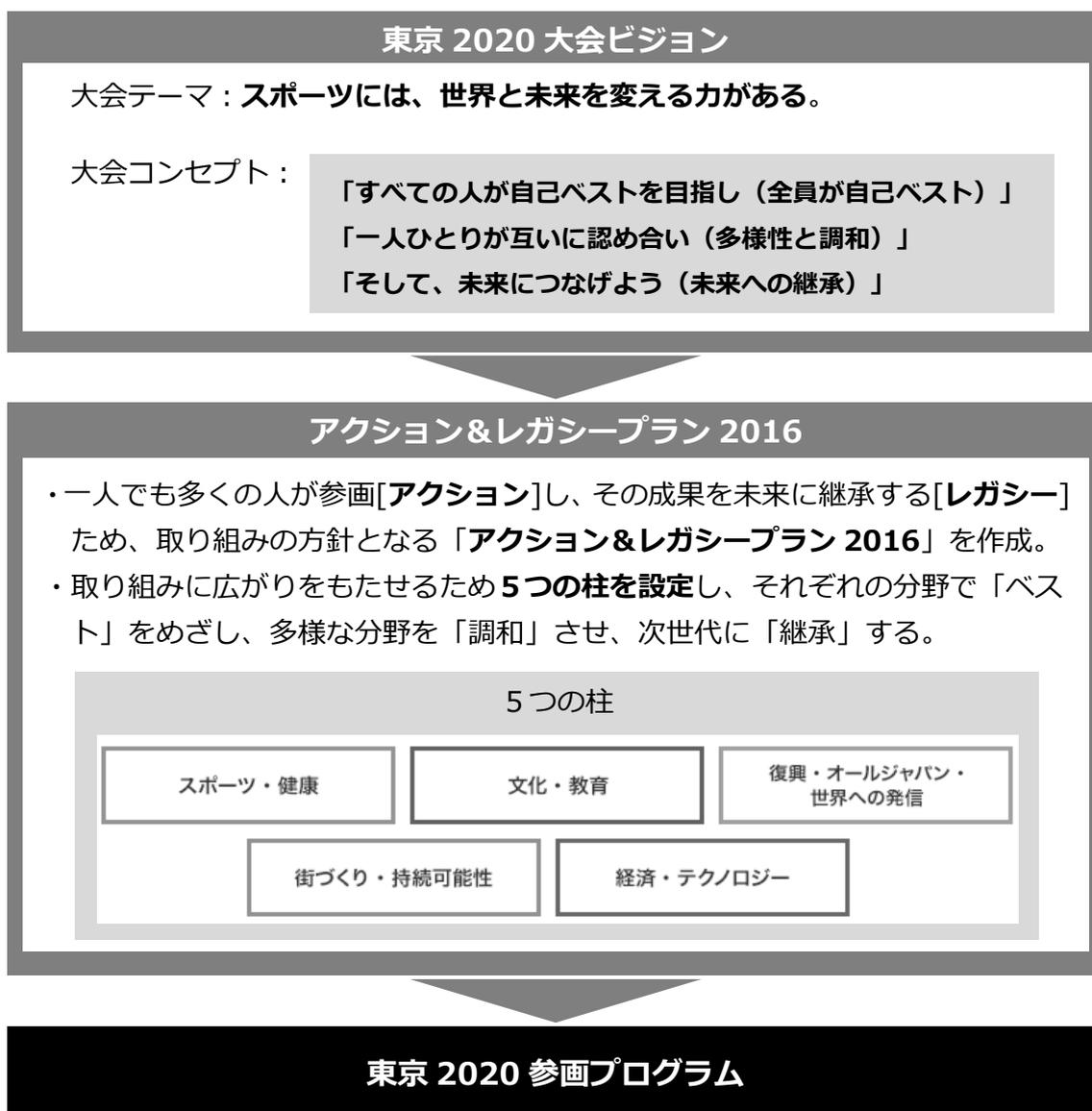
1. 上位計画・関連計画

(1) 東京 2020 参画プログラム

①東京 2020 参画プログラムの目的

組織委員会では、「東京 2020 大会ビジョン」の実現に向け、多様なステークホルダーが連携してレガシーを残すためのアクションを推進していくために、「アクション&レガシープラン」を策定しています。

東京 2020 参画プログラムは、この「アクション&レガシープラン」の5つの柱にもとづく8つのテーマに沿って推進することが求められています。



(組織委員会 公式サイトより)

②東京 2020 参画プログラムの認証

東京 2020 参画プログラムには、「東京 2020 公認プログラム」と「東京 2020 応援プログラム」の2つのカテゴリーがあり、プログラムを実施する主体によって、いずれかのカテゴリーが適用されます。

組織委員会による認証を受ければ、「オリンピック・パラリンピック」等の文言とマークを利用することが可能となります。

東京 2020 参画プログラム	
東京 2020 公認プログラム	東京 2020 応援プログラム
<ul style="list-style-type: none"> ○各省庁、開催都市、スポンサー、JOC、JPC、会場関連自治体、大会放送権者が実施 ○公認事業としての位置付け 	<ul style="list-style-type: none"> ○非営利団体等が実施 ○アクションの裾野を広げ、多くの人々が参画できることを目指す
<p style="text-align: center;">実施可能な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東京 2020 公認マークの使用 ●アクションのタイトルや説明文での「オリンピック・パラリンピック」等の文言の使用 	<p style="text-align: center;">実施可能な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東京 2020 応援マークの使用 ●アクションのタイトル以外（説明文等）での「オリンピック・パラリンピック」等の文言の使用

■対象となるアクション（審査基準・要件）

<p>実施の基礎要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益性、参加可能性、非悪質、非宗教・非政治、安全性、非営利性、適切性を満たすこと ・オリンピック・パラリンピック憲章又はオリンピック・パラリンピックの趣旨に照らして適切と認められること ・東京 2020 大会スポンサーのマーケティングルールを遵守すること
<p>大会ビジョンとの合致</p> <p>①全員が自己ベスト、②多様性と調和、③未来への継承、の趣旨と合致していること</p>
<p>目指すべきレガシーコンセプト等との合致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分野のいずれかのレガシーコンセプトに合致していること ・例えば、文化オリンピアドのコンセプトは以下の通り <ol style="list-style-type: none"> ①日本文化の再認識と継承・発展 ②次世代育成と新たな文化芸術の創造 ③日本文化の世界への発信と国際交流 ④全国展開によるあらゆる人の参加・交流と地域の活性化

（組織委員会「東京 2020 参画プログラムについて」（2017 年 1 月）より）

(2) beyond 2020 プログラム

①beyond 2020 プログラムの目的

内閣官房オリパラ事務局、内閣官房知的財産戦略推進事務局、文化庁、東京都生活文化局により取り組まれている「beyond 2020 プログラム」は、2020 年を、文化プログラムを通じて日本の魅力を発信する絶好の機会ととらえ、2020 年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーを創り出すことを目指すものです。

②beyond 2020 プログラムの認証

beyond2020 プログラム事務局では、以下の認証要件を示し、申請を受け付けています。

beyond 2020 プログラムの認証要件

●**日本文化の魅力を発信する事業・活動であること。**

※日本文化とは、伝統的な芸術からクールジャパンとして世界中が注目するコンテンツ、和食などの食文化、祭りや伝統的工芸品など、多様なものを含んでいます。

●**多様性・国際性に配慮した、以下のいずれかを含んだ事業・活動であること。**

- ・ 障害者にとってのバリアを取り除く取組
- ・ 外国人にとっての言語の壁を取り除く取組

(内閣官房オリパラ事務局 公式サイトより)

(3) 町田市文化芸術振興施策の基本方針(2011年3月策定)

本方針は、町田市民及び文化関連団体等が文化芸術を振興していくにあたり、そのイメージを共有し、連携していくための基本的な方向性を指し示すものです。本方針を今後の文化芸術振興のよりどころとして、関係団体・庁内組織との連携を行いながら、市として安定的かつ発展的により魅力的な施策を推進していくための羅針盤とします。

-コンセプト-

文化芸術で人とまちがにぎわう・まちだ

-策定の目的と位置付け-

本方針は町田市民及び文化関連団体等が文化芸術を振興していくにあたり、そのイメージを共有し、連携していくための基本的な方向性を指し示すものです。

本方針を今後の文化芸術振興の拠り所として、関係団体・庁内組織との連携を行いながら、市として安定的かつ発展的により魅力的な施策を推進していくための羅針盤とします。

3つの場面	施策
魅せる	文化芸術をベースにしたシティーセールスの実施
楽しむ	文化芸術に関する鑑賞・創作・練習・発表の機会の提供
支える	文化芸術を振興する組織・体制の整備連携

※ここで扱う文化芸術の範囲は、文化芸術振興基本法の対象範囲を参考としています。(芸術・メディア芸術・伝統芸能・芸能・生活文化・国民娯楽・出版物及びレコード等・文化財等地域における文化芸術・国際文化交流等)

(4) 町田市中心市街地まちづくり計画 (2016年7月策定)

町田市では、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」や「町田市都市計画マスタープラン」に基づき、「町田市中心市街地活性化基本方針」等の分野別計画と連携しながら、中心市街地の更なる整備に向けて、市民・事業者・市の協働のまちづくりの指針として「町田市中心市街地整備構想」を2014年3月に策定しました。「町田市中心市街地まちづくり計画」は、この「町田市中心市街地整備構想」を受け、中心市街地におけるまちづくりを具体的に進めるための計画として策定されました。

●まちづくりの取り組み

将来のまちの姿 「“夢”かなうまち」

6つの「目指すこと」

- ① 駅が快適・便利
- ② まちに行く目的がたくさんある
- ③ まちの魅力が向上しゆっくり過ごせる
- ④ 多くの出会い・活動が生まれる
- ⑤ ライフスタイルの選択肢がたくさんある
- ⑥ 通りが快適で歩いて楽しい

“夢”まちプロジェクト

- ① 駅前空間大規模店舗魅力向上プロジェクト
- ② 個性と魅力あふれる商店街づくりプロジェクト
- ③ 周辺資源をみがきまちの魅力として活かすプロジェクト
- ④ 快適で便利な交通ターミナルをつくるプロジェクト
- ⑤ 南の玄関口のまちづくりプロジェクト
- ⑥ 原町田大通り憩いとにぎわい空間を創造するプロジェクト
- ⑦ 駅からつながる水と緑の新たな都市空間づくりプロジェクト
- ⑧ 様々なライフスタイルを支える多機能な場を育むプロジェクト
- ⑨ 町田発アート・カルチャーを楽しむプロジェクト

・アート・カルチャーの拠点づくり：(仮称)国際工芸美術館の整備、芹ヶ谷公園の再整備、文化芸術ホールの検討、(仮称)高ヶ坂縄文時代遺跡ガイダンス施設の整備
・取り組みのアイデア：まちなかでのアート・カルチャーコンテンツの充実、アート・カルチャーのネットワークづくり

- ⑩ まちの魅力情報発信プロジェクト

●計画の対象範囲



2. 町田市の文化資源

(1) イベント

美術作品から歴史資料まで、幅広い分野の展覧会が開催されているほか、クラシックやジャズ、軽音楽など年間をとおして大小さまざまな音楽コンサート、市内のにぎわい創出につながる地域の伝統的な祭り、そしてフェスティバルなどの催し物も開かれています。また、町田市にホームグラウンドを置くスポーツチームは3つあり、市内外のファンが集い盛り上がりを見せるなど、文化芸術からスポーツまで多彩なイベントが開催されています。

ピアノコンクールやバレエコンクール、ショートムービーコンテストなど、若手アーティストの発掘の機会や、地域の郷土芸能を伝えるまつりなど、町田市の文化資源の育成・継承につながるイベントも行われています。

さらに町田市では、音楽座ミュージカルと町田市文化芸術パートナーシップ協定を結び、地域の文化資源の充実にも取り組んでいます。

(2) 施設

町田市立国際版画美術館や町田市立博物館、町田市民文学館などの展示施設のほか、町田市民ホールや町田市民フォーラムなどのホール、また、スポーツチームのホームグラウンドとしても利用される町田市立総合体育館や町田市陸上競技場など、文化資源の活用場として利用可能な施設が多数設置されています。

このほか、町田薬師池公園四季彩の杜や芹ヶ谷公園など、町田市の特徴の一つである豊かな自然を活かした公園施設や、町田シバヒロや原町田大通りなど、町田市らしさを印象づける施設や場所もあります。

(3) 活動団体など

約5,000名が加盟する文化関連組織や、40年以上の歴史を誇る楽団など、アートや音楽、舞台芸術、伝統文化、パフォーマンス集団など多彩な団体・グループが活動を展開しています。

■主なイベント

No.	分野	事業形式	事業名	事業内容
1	アート	展覧会	町田市立国際版画美術館 展覧会	・所蔵作品や、ゆかりのある作家の展覧会 ・年 15 回程度開催
2			町田市立博物館展覧会	・市内の民俗資料や美術工芸品の展覧会 ・年 4 回程度開催
3			町田市フォトサロン 展覧会	・写真愛好家の個展、グループ展 ・年 80 回程度開催 ・その他、講座や撮影会等も開催
4			町田市民美術展	・絵画・デザイン・彫刻部門／手芸・工芸・写真部門 ／書道部門による総合美術展 ・町田市立国際版画美術館で毎年開催
5			全国大学版画展	・全国の美術大学等で版画を専攻している学生の作品 の展示 ・町田市立国際版画美術館で毎年開催
6		イベント	市民文化祭「秋の催し」	・町田市が主催する舞台・美術・文芸の展覧会 ・町田市民ホールで毎年開催
7			ゆうゆう版美祭り	・町田市立国際版画美術館と友の会による共催 ・毎年開催
8			鶴川ショートムービー コンテスト	・プロ・アマチュアが応募できる映画祭 ・鶴川ショートムービーコンテスト実行委員会が主催 ・和光大学ポプリホール鶴川で毎年開催
9			ギャラリーウォーク	・公募作品展、玉川大学芸術学部学生作品展、ギャラ リー企画展 ・玉川学園小さなギャラリー会が主催 ・玉川学園駅及び周辺のギャラリーで毎年開催
10			恩田川フラッグアート	・玉川学園駅前や恩田川遊歩道にフラッグアート作品 を展示するイベント ・毎年開催
11		講習	町田市立国際版画美術館 実技講座	・版画技術を学ぶ実技講座 ・年 12 回程度開催
12			青空アトリエ	・大地沢青少年センターで開催する木工教室 ・年 12 回程度開催
13	音楽	イベント	全国 町田ピアノコンクール	・和光大学ポプリホール鶴川で毎年開催 ・町田市音楽協会が主催 ・入賞者によるコンサートも開催
14			町田 ジャズフェスティバル	・町田ミュージックパークや、ぼっぼ町田で定期的に 開催する無料コンサート
15			ポップフェスティバル in 町田	・ミュージックシルクロード主催の音楽イベント ・八王子から横浜を結ぶ絹の道エリアで開催 ・年 3 回以上開催
16			FMC けいおんフェスタ	・軽音楽倶楽部が主催する音楽祭 ・町田ターミナルプラザや、ぼっぼ町田で毎年開催
17			地産地 SHOW プロジェクト	・町田市ゆかりのアーティストによるコンサート ・町田市役所で定期的に開催
18			まちだ フレッシュコンサート	・若手音楽家によるコンサート ・生涯学習センターで毎年開催
19			フレッシュコンサート	・市内の小中学校・高校・大学によるコンサート ・青少年施設ひなた村で毎年開催
20			MACHIDA MusicPark	・町田ターミナルプラザイベント広場で毎週土日に行 われる無料ライブ
21			水曜午後の音楽会	・和光大学ポプリホール鶴川で開催
22			プロムナード・ コンサート	・町田市立国際版画美術館で定期的に開催される無料 コンサート
23			音楽コンサート	・著名なアーティストを招いたコンサート・イベント ・(財)町田市文化・国際交流財団が主催 ・年 30 回程度開催

No.	分野	事業形式	事業名	事業内容	
24	音楽	イベント	コンサート事業	・生涯学習センターで定期的開催される音楽コンサート	
25			チャレンジド・バンド ミュージック・フェスタ	・障がいのある子どもを中心としたバリアフリーのミュージックイベント	
26	実演芸術	イベント	音楽座ミュージカル ホームタウン公演	・町田市文化芸術パートナーシップ協定に基づく公演	
27			まちだ 全国バレエコンクール	・NPO 法人町田バレエ育成振興会が主催 ・町田市民ホールで毎年開催	
28			寄席	・(財)町田市文化・国際交流財団が主催 ・年 15 回程度開催	
29			小野路寄席	・小野路宿里山交流館で開催される寄席	
30	文学 ・ 歴史	展覧会	町田市民文学館 ことばらんど 展覧会	・町田市ゆかりの作家、文学や言葉の魅力を伝える展覧会 ・年 4 回程度開催	
31		イベント	町田市民文学館 ことばらんど イベント	・乳幼児向けのことば遊びの会のほか、大人向けの紙芝居やおはなし会等 ・年 80 回程度開催	
32			まちだとしょかん 子どもまつり	・市内図書館で開催 ・ワークショップ、展示、講演会	
33			文学館まつり	・落語会、映画会、古本市、ワークショップ、模擬店等	
34			資料館まつり	・自由民権資料館で開催 ・紙芝居、昔の遊び体験、展示解説・収蔵資料の紹介、模擬店、古本市等	
35		講習	町田市立図書館 各種講座・講演会	・町田市立図書館の主催で通年開催	
36			町田市民文学館 ことばらんど 各種講座・講演会	・町田市民文学館ことばらんど主催で、文学や言葉に関する講座・講演会を年 80 回程度開催	
37			町田市立自由民権資料館 講座	・自由民権運動や町田市域の史料に関する講座 ・年 10 回程度開催	
38		スポーツ	試合 ・ イベント	F C 町田ゼルビア (プロサッカーチーム)	・ホームスタジアムは町田市立陸上競技場 ・年間 60 試合程度開催 ・試合開催日には特設テーマパーク「ゼルビーランド」を設置しイベントも開催
39				A S V ペスカドーラ町田 (フットサルクラブチーム)	・ホームアリーナは町田市立総合体育館 ・年間 36 試合程度開催
40	キャノンイーグルス (ラグビートップリーグ)			・活動拠点はキャノンスポーツパーク ・年間 48 試合程度開催	
41	まつり ・ フェス ティバル	イベント	町田夢舞生ッスイ祭 キラリ☆まちだ祭	・農業と産業、よさこい踊りのイベント ・町田駅前毎年開催	
42			町田時代まつり	・武者行列、流鏝馬と古武術演武のイベント ・芹ヶ谷公園で毎年開催	
43			野点席	・薬師池公園内芝生広場で毎年開催	
44			郷土芸能まつり	・町田市民ホールで毎年開催	
45			さくらまつり	・桜の開花時期に市内全域で毎年行うイベント ・市が主催	
46			市民センターまつり	・市民センターで開催 ・展示、舞台発表、模擬店等	
47			市民協働フェスティバル 「まちカフェ！」	・市庁舎で開催 ・市内で活動する NPO 法人や市民活動団体による活動発表、交流のイベント	
48			まちだ 男女平等フェスティバル	・町田市民フォーラムで開催	
49			まちだくらしフェア	・町田市民フォーラムで開催	
50			生涯学習センターまつり	・発表、展示、模擬店	

No.	分野	事業形式	事業名	事業内容
51	まつり・フェスティバル	イベント	原町田大道芸	・原町田パークアベニューで毎年開催 ・各商店会が主催
52			フェスタまちだ・町田エイサー祭り	・町田駅前でも毎年開催 ・各商店会が主催
53			ザ・フェスタ栄通り	・町田駅前でも毎年開催 ・栄通り商店街が主催
54	自然	イベント	自然観察会	・忠生公園、かしの木山公園で定期的に開催
55			ガイドウォーク	・市内各所で開催 ・町田ツーリストギャラリーなどが開催
56			農業体験	・市内農場等で開催
57			しょうぶあじさいまつり	・薬師池公園で開催
58			ほおずき・あさがお市	・薬師池公園で開催
59			大賀ハス観蓮会	・薬師池公園で開催
60			菊花展	・薬師池公園で開催
61			花壇コンクール	・春と秋の年2回審査を実施 ・公園や広場、学校など公共空間に花壇を設置
62			鶴見川・泳げ鯉のぼり	・鶴見川「参道橋」上流付近に約100匹の鯉のぼりを掲揚
63			鶴見川源流祭	・小山田緑地で開催 ・源流ウォッチング、各種展示等
64	子ども	イベント	ひなた村 各種イベント	・ピザ作り教室や子ども向けの催し ・年4回程度開催
65			子どもセンター・子どもクラブ	・乳幼児、小・中学生向けの催し ・各施設で通年開催
66			夏休み子どもフェア	・乳幼児、小・中学生とその保護者向けの祭り ・町田市生涯学習センターで毎年開催
67			玉川学園コミュニティセンター 各種イベント	・乳幼児向けのおはなし会等 ・玉川学園コミュニティセンターで定期的に開催
68			大地沢青少年センター 各種イベント	・親子陶芸教室、森林体験塾などを開催
69	市民講座	講習	まちだ市民大学 HATS 公開講座	・地域文化の創造に関する講座 ・町田市生涯学習センターが主催 ・年20件程度開催
70			わくわくカレッジ	・市内在住の65歳以上の方が対象の教養講座 ・町田市高齢者福祉課が主催 ・年5件程度開催
71			さがまちカレッジ	・身近な話題をテーマとした講座 ・さがまちコンソーシアムが主催 ・年30件程度開催
72			玉川大学 市民講座	・日本の伝統文化を学ぶ講座等 ・年200件程度開催
73			国士舘大学 公開講座	・スポーツ・歴史・芸術等をテーマとする講座 ・年80件程度開催
74			和光大学 公開講座	・文化・教養講座等 ・年50件程度開催
75			多摩美術大学 市民講座	・アーティストや研究者による講座等 ・年30件程度開催
76			相模女子大学 市民大学	・文化・教養講座等 ・年4件程度開催
77			桜美林大学 オープンカレッジ	・文化・教養講座等 ・年50件程度開催
78			その他	－

(生涯学習 N A V I 2015 年度等より)

■主な施設

No.	区分	名称	展開可能な事業活動	諸室機能等
1	展示施設	町田市立国際版画美術館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会 ・ 各種イベント ・ 講座 	常設展示室／企画展示室／市民展示室／講堂／版画工房
2		町田市立博物館		展示室／ホール／講堂
3		町田市民文学館ことばらんど		展示室
4		町田市フォトサロン		展示室
5		町田市立自由民権資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会 ・ 講座 	展示室
6		町田市考古資料室		展示室
7		町田市立図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会 ・ イベント ・ 上映会 ・ 講座 	ホール／図書スペース／おはなしのへや／奉仕ルーム
8	ホール	町田市民ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンサート ・ 演劇公演 ・ 上映会 ・ 寄席 ・ 講座 	ホール（862席）／練習室／ギャラリー／会議室／サロン
9		和光大学ポプリホール鶴川		ホール（300席）／練習室／多目的室／会議室／交流スペース／プレイルーム
10		町田市民フォーラム		ホール（188席）／視聴覚室／調理室／和室／学習室
11		町田市文化交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンサート ・ 各種イベント ・ 講座 	ホール（220席）／スタジオ／ギャラリー／和室／会議室
12		町田市生涯学習センター		ホール（158席）／学習室／視聴覚室／調理実習室／美術工芸室／プレイルーム／音楽室／和室／保育室
13		市民活動	町田市庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会 ・ コンサート ・ 各種イベント
14	青少年施設ひなた村		<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベント ・ 講座 	カリヨンホール／和室／野外炊事場／レクリエーションルーム
15	小野路宿里山交流館		<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会 ・ 各種イベント ・ 講座 	交流スペース／和室／情報コーナー／土蔵
16	市民センター		<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベント ・ 講座 	ホール／会議室／和室／多目的室／料理講習室／食事室／地域活動室／キッズコーナー
17	コミュニティセンター		<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会 ・ 各種イベント ・ 講座 	ホール／会議室／和室／音楽室／多目的室／美術工芸室
18	スポーツ施設	町田市立総合体育館（ASVペスカドーラ町田のホームアリーナ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試合 ・ 各種イベント 	アリーナ／体育室／和洋弓場／会議室／武道場／幼児体育室
19		町田市立陸上競技場（FC町田ゼルビアのホームスタジアム）		競技場／会議室
20		サン町田旭体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試合 ・ スポーツ教室 ・ サークル活動 	アリーナ／多目的室
21		町田市立室内プール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試合 ・ レッスン 	温水プール
22		学校温水プール		温水プール
23		テニスコート		テニスコート
24		野球場		野球場
25		グラウンド		グラウンド

No.	区分	名称	展開可能な事業活動	諸室機能等
26	公園・屋外施設	町田シバヒロ	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント ・講座 ・サークル活動 	芝生広場（約 5,700 m ² ）／授乳室
27		町田ターミナルプラザ市民広場	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサート ・各種イベント 	イベントスペース
28		本町田遺跡公園	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント ・講座 	ガイダンスルーム
29		芹ヶ谷公園	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント 	多目的広場／虹と水の広場／冒険広場
30		町田薬師池公園四季彩の杜		広場／古民家／やくし茶屋
31		町田リス園		広場
32		町田ダリア園		ダリア花壇／休憩所
33		原町田大通り		—
34		野津田公園	<ul style="list-style-type: none"> ・各種教室 ・各種イベント 	運動施設／広場／歴史・文化施設 ／園地施設／サービス施設

(町田市HP等より)

3. 町田市文化プログラム推進計画策定検討委員会

(1) 町田市文化プログラム推進計画策定検討委員会 委員一覧

◆印：委員長、◇印：副委員長

氏名	役職等
◆三上 豊	和光大学表現学部芸術学科 教授
西田 司	株式会社オンデザインパートナーズ 代表取締役
◇香取 幸一	玉川大学観光学部 教授
岡田 万里子	桜美林大学人文学系リベラルアーツ学群 准教授
米増 久樹	町田市中心市街地活性化協議会 副会長
松香 光夫	町田市町内会自治会連合会 副会長
本多 浩子	一般社団法人町田市観光コンベンション協会 事務局長
仕田 佳経	一般財団法人町田市文化・国際交流財団 町田市民ホール 副館長兼プロデューサー
高野 賢二	クラフト工房 La Mano 施設長

(2) 町田市文化プログラム推進計画策定検討委員会開催概要

●第1回町田市文化プログラム推進計画策定検討委員会

日時：2016年9月28日(水) 18:00～

場所：町田市役所 会議室 10-4・5

次第：1. 推進計画策定検討委員会の主旨説明

2. 自己紹介

3. 委員長の選出

4. 議事

1) 前提条件と現状の整理

2) 町田市における文化プログラムの全体像の検討

3) その他

●第2回町田市文化プログラム推進計画策定検討委員会

日時：2016年11月2日(水) 14:00～

場所：町田市役所 市民協働おうえんルーム

次第：1. 第1回検討委員会のふり返り

2. 2020年に向けた文化プログラムの動向

3. 議事

1) 町田市文化プログラムの方針とめざす将来像

2) その他

●第3回町田市文化プログラム推進計画策定検討委員会

日時：2016年12月21日(水) 18:00～

場所：町田市役所 会議室 10-4・5

次第：1. 第2回検討委員会のふり返り

2. 議事

1) 町田市文化プログラムの全体像

2) 町田市文化プログラムにより目指す将来像の検討

3) その他

●第4回町田市文化プログラム推進計画策定検討委員会

日時：2017年2月15日(水) 18:00～

場所：町田市役所 会議室 10-2・3

次第：1. beyond2020プログラムの説明

2. 第3回検討委員会のふり返り

3. 議事

1) 町田市文化プログラムの対象分野の検討

2) 町田市文化プログラム推進計画(素案)の検討

3) その他

町田市文化プログラム推進計画

発行年月 2017年3月

発行 町田市文化スポーツ振興部文化振興課
〒194-8520 町田市森野 2-2-22
電話 042-722-3111 (代表)
<http://www.city.machida.tokyo.jp/>

編集協力・印刷 株式会社 丹青研究所

刊行物番号 16-116

芸術でわくわく、
スポーツでどきどき

